

混乱する現場の声を記者発表



テレビ・新聞9社が集まった記者発表

来秋の保険証廃止方針

85%が「撤回・延期」を求める

顔認証不具合・誤表示が多発

岸田首相は来年秋に健康保険証を廃止し、マイナンバーカードと一体化する方針をめぐり、「総点検とその後修正作業の状況を見極めた上で、さらなる期間が必要と判断される場合には、健康保険証の廃止の時期の見直しも含め適切に対応する」と述べています。先

の国会では「見直さない」と強弁してきましたが、それだけ追い込まれていくとも言えます。各種世論調査でも、政府の対応への批判が多く、内閣支持率もダウンしました。11月末が見込まれるトランプ総点検の結果公表までに、現場で奮闘する医療者の声を国政に反映

長崎 保険医新聞

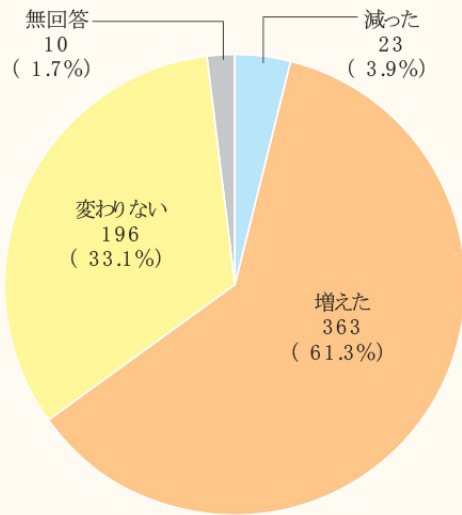
発行所
長崎県保険医協会
長崎市恵美須町2-3-2 F
電話 095(825)3829
FAX 095(825)3893
Eメール
nagasaki-hok@doc-net.or.jp
発行人 本田孝也
定価 1部 250円
年間 3,000円

マイナ保険証等に対する実態調査

期間：2023年8月18日（金）～9月5日（火）
対象：開業医会員（1,425人）
方法：FAX・郵送
回答：654医療機関 / （回収率45.9%）

することを目的に「マイナ保険証等に対する実態調査」を8月に行いました。開業医会員の半数近い654医療機関から回答を得て、9月14日に協会会議室で県内報道関係者に調査結果を紹介しました（テレビ・新聞9社が出席）。本田会長と黒木副会長が対応しました。保団連でも同様の調査を行い、連日マスクミ報道されていましたが、協会の調査でも、ほぼ半数の医療機関で、本人確認のためのマイナ保険証の

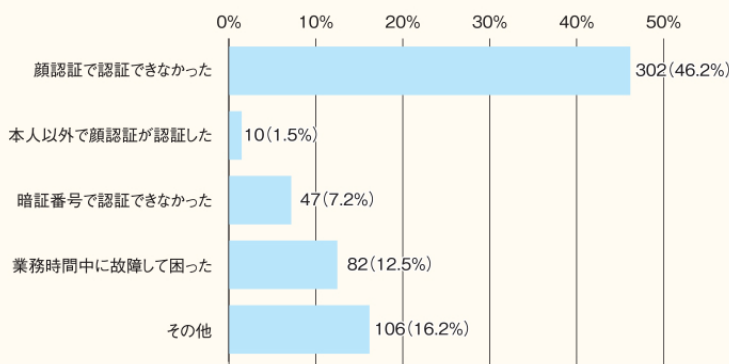
マイナ保険証の利用により業務は増えましたか（受付・事務）



顔認証ができないうなど、トラブルがあったことが浮き彫りになりました。受付・事務の61%がマ

者で事務量が大幅に増大している。来年秋に廃止するとカードリーダーの前行列が出来る。医療

顔認証付きカードリーダーで経験した不具合（複数回答）

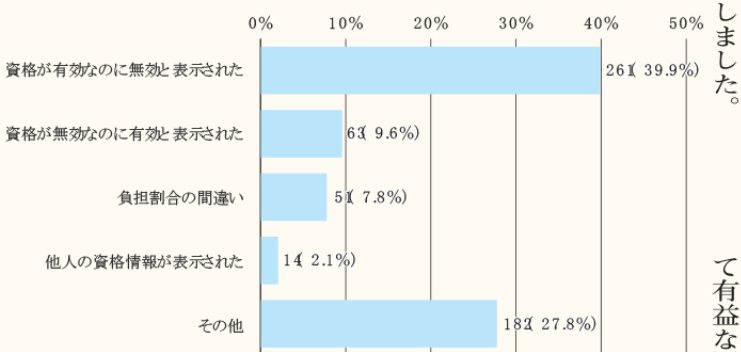


イナ保険証の利用で「業務が増えた」と答えているほか、「資格が有効なのに無効と表示された」「顔認証ができなかった」が46%に達した。この結果を説明しながら、「患者の1割にも満たないマイナ保険証の患者で事務量が大幅に増大している。来年秋に廃止するとカードリーダーの前行列が出来る。医療

主な記事

- 今こそ、診療報酬の大幅引き上げを……2面
- いよいよスタート インボイス制度……3面
- 栃木県では「当たり前」の妊産婦助成……4面
- 歯周疾患は減少せず 受診率は6割弱……5面
- インタビュー 堤未果氏「何のため」議論なくデジタル化進む日本……6面
- マイナ保険証等調査に寄せられた会員の声……7面
- 保険医年金・休業保障加入受付中……8面

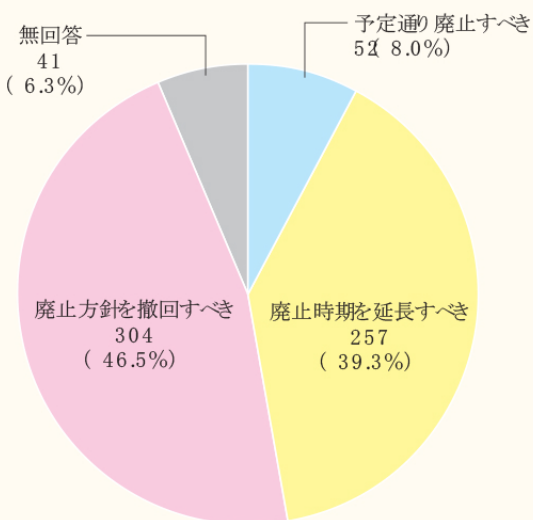
オンライン資格確認で経験した不具合（複数回答）



のデジタル化は必要不可欠だが、医療機関や患者に負担を強いる改革には反対であり、来年の保険証廃止は行うべきでない」と協会のスタンスを説明しました。

一方では事務量が増えるものの、オンライン資格確認の有用性を評価する意見も多いことから、医療デジタル化先進国の韓国を例に、国民にとって有益な医療DXが必要

2024年秋の健康保険証廃止についてどう思いますか



なお、アンケート結果は協会ホームページで公表していきますのでぜひご覧ください。県選出国会議員にも結果を提示し、理解を求めていく方針です。（7面に連記事）

同封の「第2弾 顔認証付きカードリーダーアンケート」にご協力ください